

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

飯尾敷地小学校
「学力向上実行プラン」

○PBSの考え方を取り入れ、「わかった・できた・楽しい」授業で、意欲と自信を高め、主体的に学ぶ態度を育てる。
○規律ある学習活動を行い、家庭と連携して学習習慣の定着を図る。

学力向上推進員
栗田 美和

校長
重本 浩孝

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【取組状況の把握について】 授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算のミニテストの実施で、読み書き計算の基礎的・基本的な力が身に付いてきている。 ●学力の個人差が大きく、学習内容の定着に時間がかかる児童がいる。語彙力や書く力に課題がある。	・各学年で学習する漢字や計算を身に付けることができる。 ・語彙を増やし、学んだことや自分の考えを文章に書くことができる。	・ICT 機器や復習プリントを活用し、既習内容を繰り返し復習する機会を設ける。 ・書く力を高めるために、5WIHを意識させた日記指導や自分の考えを書く活動を行う。	・合格基準を見直し、全員合格できるようにして意欲を高めた。 ・語彙力を高めるために幅広い教材や読み物に出会うようにしたり週末読書を推進したりする。	・基礎的な知識や技能は身につけてきたが、応用的な問題に苦手意識をもつ児童が多い。 ・テーマに沿って日記を書いて発表する指導を繰り返すことで、様々な書き方を知り、書こうとする意欲が高まった。	・ICTを活用し、前学年の内容を復習できるようにする。 ・よく書けている日記を他の児童や保護者に紹介し、啓発する。国語辞典を使って語彙を増やす。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話し合い活動や友達との活動を楽しみと捉える児童が多い。調べ学習等に意欲的に取り組む児童が増えた。 ●聞くことが苦手で、理解が不十分であるため、じっくりと思考・判断したりすることに課題がある。身に付けた知識や技能を活用して自分の考えを伝えることが苦手である。	・今まで学習したことや身に付けた技能を活用して、自分の考えをまとめることができる。 ・自分の思いや考えを表現したり深めたりすることができる。	・ICT やホワイトボードを活用し、児童が自分の考えを表現できるよう、積極的に授業改善を行う。 ・各教科の単元ごとに授業の振り返りを行い、自分の考えをまとめられるようにする。	・ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れる。また、メンター制度研修を活用し、ICTを活用した授業を紹介しあう。 ・低学年は、まとめを書くことにこだわらず挙手や発表も振り返りとして認める。中学年以上は振り返りを書く時間を確保したり手本を示したりする。	・ペア学習やICTを活用した授業を行うことで学習意欲が高まった。 ・高学年はタブレット等の活用で自分の考えをまとめることができた。全学年を通して聞くことが苦手で理解が不十分である。	・グループ学習の成立には至っていないので、学習モデルや例を活用して話し合いの練習を重ねる。 ・タブレット等の活用で書くことが苦手な児童も活動しやすいように授業改善を行う。振り返りの観点や書き方を丁寧に指導する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学習課題に真面目に取り組むことができる。自主学習の内容が深まり、学習意欲の向上につながっている。 ●自ら進んで課題を見つけることや、難しい課題に粘り強く取り組むことに課題がある。家庭ではゲームやメディアなどの付き合い方に問題のある児童もいる。	・学習規律を守り、自ら進んで学習に取り組むことができる。 ・取り組む内容を自分で決めて、自主学習をすることができる。	・PBSの手法を生かし、望ましい態度の習慣化を図る。 ・自主学習の手引きを配布して家庭へ啓発するとともに、自主学習ノートを互いに見合う機会を設け、意欲を持続させる。	・望ましい態度や持ち物のモデルを示し、学習規律を定期的に確認する。できていれば賞賛する。 ・他学年の自主学習ノートを見学することがよい刺激になっているので継続する。また、学級でも積極的に紹介しあう。	・指示されないと取り組めない児童が増えており、「自ら進んで」までには至っていない。 ・自主学習ノートコンテストを行う前は、いつも以上に意欲的に取り組む児童が多かった。	・朝の活動の時間に「話す・聞く」態度を育成するトレーニングを行う。 ・ゲームやメディアとの向き合い方についての講演等を通して、保護者や児童に啓発する。

令和6年度学力向上ロードマップ

